

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（24）」
2. 日時：令和3年9月30日（木） 13時30分～15時35分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部審査グループ
実用炉審査部門
戸ヶ崎安全規制調整官※、塚部管理官補佐※、藤川安全審査官、
宮本安全審査専門職
長官官房技術基盤グループ
システム安全研究部門
小嶋上席技術研究調査官、橋倉主任技術研究調査官※、
渡辺技術研究調査官※、水田技術研究調査官※、菊池技術参与※

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他13名※

5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る資料およびヒアリングスケジュール案
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表（概要説明）
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（低サイクル疲労） 補足説明資料
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（2相ステンレス鋼の熱時効） 補足説明資料
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（コンクリート構造物および鉄骨構造物） 補足説明資料
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価 審査会合における指摘事項の回答

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の宮本です。これから大飯発電所 3 号炉高経年化技術評価 30 年目に係る
0:00:10	保安規定変更認可申請に係るヒアリングを開始いたします。
0:00:15	関西電力のほうから説明をお願いいたします。
0:00:29	関西電力の森山でございます。° コンクリート部についてご説明させていただきたいと思えます。
0:00:37	説明内容につきましては、大きく分けて四つございます。
0:00:43	一つ目が
0:00:46	前回の
0:00:48	ヒアリングでコメントをちょうだいしたテンドンの緊張力に関する内容を二つ目が
0:00:59	塩分浸透に係るコメントに対する回答を
0:01:04	三つ目が現地の確認を受けまして、修正した箇所について、
0:01:10	四つ目が、その他補足説明資料内で体裁等修正させていただいたこともございますので、今申し上げた順番に御説明させていただきたいと思えます。
0:01:23	まず一つ目。
0:01:27	テンドンの緊張力に関する説明でございます。
0:01:33	コメント整理表の 15-1 でございます。
0:01:39	10 年目までの緊張力確認検査について、大飯 34 号機PCV技術指針に基づき実施していることを追記することということで、コメントちょうだいしてございまして資料としましては、
0:01:53	15 の 2 ページをお願いいたします。
0:02:14	15-2 ページでございますけれども、資料中にですね、添付 2 ということで、技術指針を追加してございます。それから 15-3 ページお願いいたします。
0:02:28	こちらは緊張力を確認検査の履歴を示した資料でございますけれども、この資料中、なお以降でございますが、緊張力が職員に大きく低下することに配慮し、
0:02:44	大飯 34 号機、プレストレストコンクリート格納容器に関する技術指針では、運転開始後、1 年目 2 年目 3 年目及び 5 年目に検査を実施することが定められていると。
0:02:59	大飯 3 号につきましては同指針に基づき、第 1 回第 3 回第 5 回定期検査で供用期間中検査を実施していると追記してございます。それから 15-4 ページ、それから、15-5 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:14	技術っていうのは不要で別紙としてつけてございます。この実名 5-5 ページの 1、下から 3 行目。
0:03:24	ですね、試験の試験及び検査の回数は原則として運転会社 511 年目 3 年目及び 5 年目に各 1 回実施することとすると記載されてございます。まず一つ目の御説明は以上でございます。
0:03:44	はい。
0:03:47	規制庁宮本です。
0:03:50	アンダーライン引いているところは確か前回、前々回ぐらいに説明いただいていると認識してまして。
0:03:57	この記述して新エネ庁のところを加えていただいたようは 1 回目 3 回目 5 回目っていうのはその補修。
0:04:06	計画だとこねに 1 回だったんだけどもっていうところで、こちらから質問させていただいてそのエビデンスつけていただいたというところだと理解しています。特段、これは、
0:04:20	はい、コメントはございませんので、次お願いいたします。
0:04:35	説明者かわりまして関西電力も、原子力事業本部タカギでございます。先日ヒアリングでコメントをちょうだいしました、塩分浸透についてご説明させていただきます。
0:04:50	審査会合資料のパワーポイントで、8 ページに記載しております。花き分析の方法について、土木学会基準の準拠した部分を追記すること。また塩化物イオン量を kg/立米。
0:05:09	通気することというコメントをちょうだいしまして、コメントをちょうだいしました。続きまして、
0:05:18	同じく審査会合資料見直し前後の気中帯、干満大会長大それぞれに残渣平方あのを追記すること。また見直し後のそれぞれのグラフに示す、ターのコアナンバーを追記すること。
0:05:36	もう 1 点、審査会合資料の 10 ページにかぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の鉄筋腐食減量に到達する年数を追記することを先日コメントちょうだいしております。/ポイントのほうにですね。
0:05:53	それぞれ反映追記させていただきまして、すみません、8 ページ、こちらでございます。黒枠で困っておりますが、まず中段ぐらいにですね、参考にしました土木学会基準の文面を追記いたしました。
0:06:12	加えて、下の表になりますが、パーセントで表示しておりましたが、それに加えて併記する形で、kg/立米の日本塩化物イオン量についても追記いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:28	続きまして、金ページでございます。グラムにですね。
0:06:34	A4、
0:06:36	残差警報はそれぞれ椎間しまして、見直し後のグラフにつきましては、作業となりました。考案ナンバーを追記しております。
0:06:50	続きまして、次のページ進んでかぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の鉄筋腐食減量に到達する年数を追記いたしております。それぞれ二重線もしくは 22 重枠で囲っております。
0:07:09	まず審査会合資料につきましては以上でございます。続きまして、
0:07:17	補足説明資料の追加長をについてでございます。補足説明資料の 12-3 ページをお願いいたします。
0:07:32	まず、ちょうどしましたコメントとしまして、塩化物イオン量パーセントを追記すること、また計算式の凡例についても値がデータの関与を見直すことということで、この表のですね
0:07:50	上から 2 運営 2 行目のところからですね、この二重線で囲っておりますが、
0:07:59	%を追記させていただいております。ずっとさ、一番下まで下がっていただきまして、凡例のところですね、それと合致するような形で関与商企しております。
0:08:15	続きまして、12-4 ページから 12-14 ページまでなんですが、
0:08:24	まずグラフにですね、先ほどのパワーポイントと同様にですね。残渣平方悪設置させていただきました。また塩化物イオン濃度%につきましても続けさせてし、
0:08:39	させていただいております。以上でございます。
0:08:47	はい。規制庁ミヤモトです。
0:08:50	これはもう給付今度の審査会以降不満指摘事項への回答ということになりますので、これ以上の何か質疑っていうか、その差し控えたいと思います。説明は今お聞きしました。
0:09:03	では次お願いいたします。
0:09:09	φ電力のモリヤマでございます。続きましては別紙の 8-9 ページをお願いいたします。
0:09:25	はい。
0:09:27	炉未確認ですね、すいませんあのこの 8-9 ページの表の下に測定期間、2010 年の 8 月から 2011 年の 6 月というふうに記載をしております。
0:09:42	現地確認のためにですね、古い、意見が古いといいますが 2010 年のデータを用いてよいのかという御質問がありましたので、それにそれを受けまして、ここの下線部のような修正をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:01	まずですね、個目測定機関のところにも米を打ってございます。個目の説明といったしましては、環境条件による影響度は運転開始以降、30年の影響として算出するものでございまして、
0:10:17	温度相対湿度及びCO ₂ 濃度は、運転開始以降30年間の代表的な課題であることが望ましいとでフロッピー測定機関の測定結果は、下記の理由により代表的な値であると判断していると。
0:10:33	理由としましては温度相対湿度は外気の平均気温は平年並みであることをしよう濃度としてはによって大きく変動するものではないこととすることでこれらをもちまして、この2010年から11年のデータを使ってよいと。
0:10:51	考えているということに記載いたしました。以上でございます。
0:10:59	はい、規制庁ミヤモトで説明ありがとうございます。
0:11:04	では、こちらからちょっと確認したことがありますので、はい、よろしく願います。
0:11:12	原子力規制庁の小嶋です。
0:11:15	説明ありがとうございます。
0:11:19	まず測定期間、2010年から11年の代表的ということでしたけれども、
0:11:26	東京電力福島第一原子力発電所の事故以降ですね、の環境についてこれ
0:11:36	10年から11年の後になると思うんですけど、その原子力発電所が長期間停止している期間における何かさなどがありまありましたらちょっと説明をお願いします。確認をさせてください。
0:12:08	はい。
0:12:08	関西電力の森山でございます。も質問の件は2010年以降、
0:12:19	の本道等につきまして、どのような変化があるかと考えられるかという質問かと思いますが、まず代金としては記載の通り平年通りの
0:12:35	値でございまして、特に問題ないと考えてございます。
0:12:40	それから室内の温度という意味ではですね、この2010年から11年をプラントの運転期間中でございますので、中生界にとって、より厳しい状態の温度がとれておりそれに基づき評価しているというふうに判断してございます。
0:13:00	以上でございます。
0:13:04	はい。
0:13:06	原子力規制庁の小嶋です。説明ありがとうございますセット運転期間中がより厳しいというようなことについてもう少し事実を説明を詳しく願います。
0:13:43	関西電力の森山でございます。すいません、大飯3号といたしましては、現在資料中にそういった来さいいはできてございません。ただですね、例えばそれに40年の申請をしております。弊社の高浜。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:03	12号ですとか美浜3号、につきましては、この運転中の温度が高いということで、データがとれておりまして、そういったことも参考にしながら、
0:14:19	今回その運転中の期間使うということは妥当であるというふうに考えてございます。
0:14:25	以上です。
0:14:30	原子力規制庁の小嶋です。はい、いろいろ発電所の運転状況だとかそういった停止中の状況だとかいろんなことを踏まえて考察した上で、
0:14:46	2015大飯3号機の場合は2010年以降ですね、その期間が運転中ということで厳しいというような説明をいただきましたので、
0:14:55	そのような内容をですね、その事実について、
0:14:59	この日程初の9ページで構いませんので、追記していただくことは可能でしょうか。
0:15:13	体力のモリヤマでございます。承知いたしました。
0:15:17	原子力規制庁の小嶋です。私からは、今のところ特に追加の質問ございません。
0:15:30	規制庁ミヤモトですと現地確認にかかるということですので、
0:15:39	ツカベさん渡辺さんの方から何か追加で質問とか確認がございましたらお願いいたします。
0:15:47	ツカベさんいかがでしょうか。
0:15:50	学校、規制庁のツカベです。当現地確認の際も議論させていただいたと思います。今回説明を加えていただいて、
0:15:58	色なので、白地者もこれでいいのかなと思いますけど、このここで書かれていることが実際につまりエビデンスを伴って、
0:16:09	損失であるということはちゃんと確認しておく13としてちゃんと確認しておく必要があると思いますので、
0:16:18	そちらをよろしく申し上げますしかない。
0:16:35	ワタナベさんの方から何かございますか。
0:16:39	規制庁渡辺です。
0:16:42	先ほどのツカベさんのほうからありました通り事実はしっかり確認しておく必要があるかなとは思っておりますが質問等は特にございません。
0:16:58	はい、ありがとうございます。
0:17:03	では関西電力さんのほうも
0:17:06	今規制庁三名の方から質問なりいろいろさせていただきましたので、それを踏まえて対応してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:16	また補足説明書のほうの修正等々を終わりましたらまたご連絡ください。よろしくをお願いします。
0:17:26	はい、関西電力モリヤマでございます。承知いたします。ただいまのコメントですとか御意見を承知いたしました。
0:17:39	規制庁宮本です。今回クリーブ等については、関西電力からの説明は以上になりますか。
0:17:48	また、電力のモリヤマでございます。申し訳ございません。あとそれを補足説明資料を全般につきまして、記載充実可能誤記の修正や記載充実等をしてございます。簡単に御説明させていただければと思っておりますがよろしいでしょうか。
0:18:06	はい管理者の中、例えば日鉄塔を及びの幹事を開かないとかそういったのはもう端折っていただいている、こういう所については、今もちょっと少しないように可聴かかるようなものであれば説明していただく。
0:18:26	形でも結構です亀に投影しながらお願いいたします。
0:18:31	はい、承知しました。まず 8 ページをお願いいたします。
0:18:41	8 ページの表、こちらはですね、コンクリート構造物における代表構造物の選定結果を選定している表でございます。中段案にですね 7 番、タービン建屋 A のところの塩化物。
0:18:59	供給供給引火物量のところがなっていたんですけども、こちらはちょっと誤記でございましてダイヤにしております。
0:19:10	それから、
0:19:20	20 ページをお願いいたします。
0:19:29	20 ページでございますけれどもこちら区役所前回ご説明したかもしれませんが、塩化物の鉄筋腐食減量の値を 14.9 に見直してございます。
0:19:43	それから 22 ページをお願いいたします。
0:19:51	コンクリートの強度試験結果の表でございます。この地域、外部遮へいべきにつきまして、2020 年、2020 年の結果に基づくという記載をしてございましたが、2016 年のものが記載ものでございましたので、追記してございます。
0:20:11	それから、
0:20:13	別紙のほうの部分ですけども、13-1 ページをお願いいたします。
0:20:28	はい。13-1 ページはですね機械振動の評価対象の選定過程についてお示した資料でございまして、そのうち表には、主要な機器の／高出力それから重量をお示ししてございます。
0:20:44	このうちですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:48	余熱除去ポンプとモーターですとか電動補助給水ポンプモーターですとか、そういった辺りの出力それから重量の記載の転記ミスがございまして、修正をさせていただきます。
0:21:03	はい。
0:21:05	多少なりとも得ないようにかかるところというところでは以上でございます。
0:21:14	はい、規制庁ミヤモトですねと確認をさせていただきます。最初の当タービン建屋の代表構造物選定結果のところ、
0:21:24	8 ページ目ですね、ちょっと投影していただけますか。
0:21:29	これは技術評価書にも多分この表使ってると思いますので、これは
0:21:35	技術評価書のほうがアップからこちらに転記するときに漏れてたってことですかそれとも評価書の補正が必要っていうことですかどちらでしょうか。
0:21:46	電力のモリヤマでございます。評価書も今同じというかバーのままでございます。補正させていただく予定でございます。
0:21:59	はい規制庁ミヤモトですわかりました同様に
0:22:08	ちょっとお待ちください 20。
0:22:14	はい。
0:22:15	コンクリートの強度試験結果をどっか示していたと思いますけれども、22 ページ。
0:22:21	こちらも、
0:22:23	技術評価書にアプリ
0:22:27	表かなと理解していますか、こちらの補正が必要ということ。
0:22:33	でしょうか。
0:22:35	確か技術評価書の、今ちょっと私見しているとこ 34 ページなんですけども。
0:22:42	関西電力の森山でございます。ご認識の通りでございます。こちら教科書に反映する予定でございます。はい。
0:22:50	そういう意味では今のその 2 点であったり、
0:22:59	3 点ですね、鉄筋の腐食減量のところ、
0:23:03	もう補正って、これ従前から来設定ふうになってますけども、
0:23:07	ということですかね。
0:23:14	それですね。
0:23:25	関西電力の森山でございますご認識の通り、この 14.9 の記載につきましても、評価書の見直し補正をさせていただく予定でございます。はい。
0:23:36	ローリーました。
0:23:38	ちょっとそういう意味ではコンクリートの技術評価書に
0:23:43	に悪影響があるような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:46	動きだったり、
0:23:49	そういったように追記っていうのはちょっと確認させてください。
0:24:14	これまでいろいろやりとりヒアリングにおいて指摘したところ、っていうのは除いていただいて、例えばそうですね、ちょっと今日みたく新たに追記が必要なみたいな話があれば、
0:24:28	発言をお願いいたします。
0:25:03	そうです。
0:25:04	関西電力の森山でございます。
0:25:10	先ほどのご質問の件ですけれども、評価章につきましてはもう一つの主な修正がございまして、
0:25:23	要望仮称で言いますところの
0:25:32	現在の評価章の 40 ページでございますが、日程の 3.4 ということで、鉄骨の影響度低下というページがございます。こちらにつきましては、
0:25:49	この 2.32. 3 項が着目すべきでしょう。に関する記載をすることでございまして、鉄骨による強度低下は今回着目すべき事象ではないでしょうと。整理されておりますので、
0:26:07	ここに鋭角の誤りということで、だまりといいますかもうすでに着目すべき事象ではないでしょうのところに記載をしてちょっと重複してございますので、この 2.3. 4 の記載を削除させていただくという修正がございまして、
0:26:24	あとそれ以外にも細かい誤記がございましてけれどもそちらについては説明を割愛させていただき、言ってもよろしいでしょうか。
0:26:36	はい。そうですねこの 2.3. のところは確か共通の資料にもちょっとちらっと書いてあって
0:26:43	当然認識してますか。わかりました。
0:26:46	はい。
0:26:56	いずれも先ほどの説明いただいたのを追加で何といいますか。江藤。
0:27:04	ほ修正としましたっていう中で補整補正に係るところっていうのは、今わかりましたので。はい。これで以上にしたいと思っております。後よろしいでしょうか。
0:27:24	すみませんこちらから一つあります。お待ちください、原子力規制庁の小嶋です。1 点だけちょっと金員なところというか
0:27:37	説明いただいた
0:27:39	塩分浸透のうち、
0:27:43	会合資料の 9 ページですかね。
0:27:48	そのんですね。
0:27:50	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:52	うん。
0:28:07	この
0:28:11	すいませんあの先ほど説明質問できなくて確認できなくてすみませんでした残渣平方泡、
0:28:22	パーセンテージの方で出した残渣平和を出しているということですね、事実確認だけさせていただきます。
0:28:31	おそらくkg/。
0:28:36	のほうではなくて、
0:28:38	パーセントの方かなと思うんですけれども、
0:28:44	はい。
0:28:45	関西電力のタカギでございます。今コメントをちょうだいしましたって、%での算出した残渣平方会おう記載させていただいております。以上です。
0:29:00	原子力規制庁の小嶋です。わかりました。どうもありがとうございます先ほど確認できなくてすみませんでした。
0:29:09	私からは以上です。はい、ありがとうございます。
0:29:13	はい。規制庁ミヤモトですとほかに上ぶれ参加されてる方から、コンクリートのほうで何か。
0:29:20	確認とかございますか。
0:29:22	規制庁のトガサキですけど。
0:29:26	その補足説明資料の 22 ページなんですけど、今回二重線で直したところの括弧書きの経過年数の活力後なんですけど。
0:29:41	25 年って書いてあるんですけどその下のあの海水ポンプ室は、24 年育ってるんですけど。
0:29:48	経過についてはどう、どういうふうにかウントされてるんですか。
0:30:14	関西電力の森山でございます。等と確認をさせていただきます。
0:30:23	はい、何時間から実際に運転したスキーとかから。
0:30:30	試験を実施した。
0:30:34	弁数をカウントしているのか、年単位でカウントしてるのがちょっとわからなかったんで。
0:30:44	ちなみに
0:30:46	20 ページのほうの 2016 年は浅部 20、24 年になってるので。
0:30:57	22 ページの今回修正したところがだけが 25 年だったので、ちょっとそれを確認してもらいたいと思います。
0:31:11	関西電力の森山でございます。少しすみませんトーンがとれていないところはございますので、確認して適切な表現にさせていただきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:25	よろしく申し上げます。
0:31:30	ほかにWeb三島されてる方から確認質問とかございますでしょうか。
0:31:48	はい。ではあのコンクリート等は、はい。以上で終わりにしたいと思います。
0:31:53	コンクリートの担当者の皆様ありがとうございました。
0:31:57	次は、低サイクル疲労のほうに行きます。説明の方よろしく願いいたします。
0:32:13	関西電力のムラタです。では低サイクル疲労についていいコメント反映整理表をまず御確認いただきたいと思います。コメントNo.4 名機器の暴力昇格暴行ページ本文の記載を整合させることと、
0:32:30	行かせまして、別紙7方修正しました本文と別紙7を修正しました。もうちょっと説明させていただくとFujii7で応力分類に記載の荷重の組み合わせについて、
0:32:46	のところと総力評価フロー上部の荷重の大きさ引火性ごとになっていきますと、御指摘を受けまして、それを防ごう買うように修正しております。またそれとあわせまして、別紙7の機種ごとに記載が異なった応力評価フローについてですね。
0:33:06	これ可能な限り代表機器である原子炉容器のフロートずするように修正いたしました。
0:33:12	では補足説明資料を使って以降、御説明FEMAが補足本文の14ページ目を
0:33:22	お願いいたします。
0:33:25	こちら原子炉容器代表機器である原子炉容器の応力フローですが、
0:33:31	前のバージョンだと
0:33:34	上段、上から3個目ぐらいの応力解析の下にボックスで有限要素法等にモデルファイラドっていうモデルの書き分けがあったんですが別紙7で、このフローも使うんですが、その他の機種との
0:33:51	統一を図る上で必要な情報だなということでそこを落としております。
0:33:59	続きまして、
0:34:02	別紙の3-16ページお願いします。
0:34:21	人別紙7-16は1次冷却材ポンプの応力フローになりますが、こちらは強度の原子炉容器のフローに合わせました。
0:34:32	1-1って、7-22ページをお願いします。
0:34:42	7-22ページは、蒸気発生器の応力分類のところになるんですが、
0:34:48	前回のバージョンだと、機械的荷重っていうのが書いてあったんですがそれ本来月時には考慮不要な荷重であったので、これを削除。
0:34:58	出しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:02	続いて 7-28 ページをお願いします。
0:35:10	こちらは蒸気発生器能力強化駆動になります。
0:35:14	こちらでも原子炉容器能力長角度に合わせましたとして下にb項でツジこの期日に関しては、機械的荷重は作用してないので、一方以降で機会で間かには対応しないと記載させていただいてます。
0:35:33	WEB一定 7-49 ページをお願いします。
0:35:42	7-49 ページ目は、加圧器管台の応力評価フローになるんですが、こちらでも原子炉容器と合わせました。
0:35:51	備考で機械的荷重は早うしないとき入っております。
0:36:00	といて、
0:36:03	7-56 ページをお願いいたします。
0:36:10	こちらはパーティープレー配管配管の応力分類のところになるんですが、
0:36:18	目標とは通帳疲労等でフェイスを考慮した環境疲労で二つ書き分けるべきだったんですがちょっと移行時間かけてませんでしたということで今回切り分けをさせていただきます。
0:36:35	どいて。
0:36:37	7-68 ページ目をお願いします。
0:36:45	はい。
0:36:46	68 ページ目のフロー自体を変えてないんですが、こちらは通常拾うの。
0:36:52	評価に用いるフローなので、題名に応力評価フロー括弧通常博人堆しております。
0:37:00	動いて 7-69 ページをお願いします。
0:37:05	こちらが日程等を考慮した環境疲労の応力評価フローになりまして、現代の機器である原子力と同じフローにしています。
0:37:18	続きまして、7-75 ページ目をお願いします。
0:37:27	こちらは 1 次冷却材管の管台の
0:37:31	応力分類になるんですが、機械的荷重が前回のバージョンで書いてあったFだ評価の誤記入あったので削除いたしました。
0:37:45	続いて、89 ページをお願いします。
0:37:55	これが先ほど説明最適冷却材管の管台能力増についてですね苦勞が原子炉容器と合わせてまして備考で機械的荷重は作用しないと期待しています。
0:38:09	その 1.7-101 ページをお願いします。
0:38:19	こちらが並列炉心支持構造物の応力分類についてですが、こちらでも前回のバージョン圧力が入ってたんですが圧力は不要だったので削除しております。
0:38:38	続いて 109 ページ目をお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:44	こちらは炉心支持構造物の応力評価フローなんですけど、原子炉容器に合わせてまして、一方で、圧力にいつも直下では採用しないと期待しております。
0:38:56	ウィーンへ、7 全く 17 ページ目をお願いします。
0:39:08	はい。
0:39:17	こちら側が加圧器スカート溶接部の応力評価フローになります原子炉容器に合わせております。備考で機械的荷重は作用しない、また席環境部リンパないと。
0:39:31	対しております。
0:39:34	※2 個に係る修正は以上でございます。
0:39:43	うん。
0:39:44	はい。規制庁ミヤモトです。
0:39:47	これは私のほうから、その
0:39:55	応力分類、いいとそのフローチャートっていうところでちょっと対応していないんじゃないかっていうところと、そもそも荷重の組み合わせであってますかっていうところを確認させていただいて、はい。私はこれはいわかりました。
0:40:12	江藤ハシクラさん光田さんの方から何か質問。
0:40:18	確認等ございましたらお願いいたします。
0:40:24	規制庁ハシクラです。今回の修正に関しては了解いたしました私も大沼さんと同じなんですけども、ちょっと1 点確認させていただきたいんですけども、
0:40:38	ちょっと関西電力さんの対応学者今回初めてなんですけども、
0:40:45	過去のプルーム等、
0:40:47	どうも整合性というんでしょうか。その通りで問題ないでしょうか。今後は大飯 4 号機が出てくるんで、それから多分持つてると思うんですけども。
0:40:58	ここまでやられてきたものを、おそらく同じ多分フローチャートをつくって使ってこられてきてると思いますけども、そのあたりはどのようにお考えでしょうか、ちょっと教えてください。
0:41:20	関西電力のムラタです。過去の評価補足説明資料のフローとあのフローのみ見栄えはぶれるんですけども、やり方が間違っていたわけじゃなくて、単純に表現の仕方が変わるだけなので、影響はないと考えてます。
0:41:41	わかりましたじゃあ、あくまでも、その辺りは問題ないということですね、了解いたしました予算を私は必要です。
0:41:57	はい、規制庁見られて僕の方から特にありません。
0:42:02	はい。
0:42:04	規制庁ミヤモトですハシクラ 3 ミズタありがとうございますあとウェブで参加されてる方から

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:11	質問等ございましたらお願いいたします。
0:42:30	はい。
0:42:31	規制庁宮本です。
0:42:33	でも低サイクルのほうもは以上に達させていただきます。最後についてこうなりますが、
0:42:43	今上プレス参加制度化の中ではワタナベさん、この後の熱時効をしばらく行う管理なんです、最後までいただいて生きていらっしゃったと思っただけですし、
0:42:59	コンクリートで前提か担当ですので体質っていう形でも、こちらもお任せいたしますので、
0:43:06	よろしくお願いいたします。
0:43:13	では関西電力の方から熱時効の説明をお願いいたします。
0:43:25	産廃電力のムラタでいるすいません、低サイクル疲労のところ湖面等々とは別にですね、案件名称に一部誤記がありましてそちらを今回修正させていただいております。ただ評価結果に許可結果でね、関係ない。
0:43:42	御切れて評価を本文側にはねるような動きでもございせんが、御説明、どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。
0:43:53	規制庁ミヤモトです。すいませんちょっとその辺はあまり認識しなかったんで、どのようなところでしょうか。
0:44:01	はい、説明させていただきますと、本文の 19 ページになります。
0:44:06	はい。
0:44:11	配管のステンレスこう配管ところの
0:44:17	はい。
0:44:18	右の米の
0:44:21	もうほぼそうですねはいちょっとここは何かそうですねはい。
0:44:26	ほかにもありますねはい 21 ページも多分同じですねはい。
0:44:31	はい、ちょっと説明をお願いできますか。
0:44:33	はい、わかりました。まず 19 ページ目ですが、ステンレスこう配管の疲労評価はクラス班クラス 1 の範囲とクラス 2 の入り二乗にしてたんですが、答弁の名称区切るところがMCPの第 2 弁
0:44:48	なので第 2 弁の名称を書くのが正しかったんですが、誤って第 1 弁の名称書いていましたといった誤記が 19 ページと 21 ページでございます。
0:44:58	で、20 ページの玉型弁のところ抽出
0:45:03	抽出ラインの後に第 1 と
0:45:07	水位の動きがあったので追記させていただいてます。
0:45:13	いえ、次に別紙 6 になるんですが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:30	基本的に、
0:45:32	別紙 6-3 ページになるんですが、玉型弁のところ、抽出ライン後にまた第 1 と追記しております。
0:45:43	いえ、続いて別紙 7-96 ページなんですが、
0:45:49	はい。
0:46:03	ここで蓄圧タンク注入ラインの後に第一次とつい軽視してます。
0:46:11	以上が、誤記の修正になります。申し訳ございませんでした。
0:46:20	規制庁ニアトレースえっとねのための確認ですけど、技術評価書にはねるような話はないということで、先ほど説明いただいて、
0:46:28	なんですかね。
0:46:30	関西電カムラタでその通りでございますよう、補足説明資料への転記するときにちょっとそこがうまく反映されてなかったっていう、そういうことで、
0:46:40	理解すればよろしいですか。
0:46:42	はいその通りでございます。はい、わかりました。はい。はい。
0:46:49	わかりました。もし何かあれば、追加で質問とさせていただきます。はい。
0:46:56	では、熱時効のほうに移らせていただきければと思います。
0:47:01	よろしいでしょうか。
0:47:04	関西電力の辻でございます。を通しましてたら熱時効の方、御説明のほうを足していただきます。
0:47:12	サブチームコメントのほうに入る前にですけれども全体になって全体的なところなんですけれども、従前は別紙番号、ABCDというふうな形でつけ方をさせていただいておりましたけれども、別紙のほうを人追加されたものとかって順番なんかもちょうと入れ替えたりさ。
0:47:32	いただきまして、別紙番号 1234 という形で数字で書き改めさせていただきます。順番なんかもちょうと入れ替えさせていただきます。ありがとうございます。
0:47:43	本日はこのエリアっていただいた番号で御説明立っていただきます。
0:47:49	そうしましたらコメント整理表に合わせて御説明のほうで説明させていただきます。
0:47:56	まず最初にコメントNo.1-1 について御説明させていただきます。とコメントの内容ですが、金利経年劣化メカニズムまとめ表に熱時効の記載があっても、障害児取得
0:48:08	当該事象の発生の可能性がない。抄条件下に該当する場合は、評価不要と整理していることについて、12 のスクリーニングフロー等も整合した記載にすることということでいただいております。
0:48:22	こちら 2 ページは 3 ページ目のところをご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:31	別途御懸念か記述。
0:48:33	保険対策実施基準の経年劣化メカニズムまとめ表におきまして、評価対象部位に対して熱時効が通ってされている場合であっても、経年化技術評価不要の条件に合致する場合は、熱時効評価不要としてよいこととなっております。
0:48:50	ちょっとページ出てるんですけど、5 ページ目の表の 2 の下のところに米印でこの徹底させていただいてございましたが、本文中の 3 ページ目の下から 4 行目のところ、
0:49:04	それと 4 ページ目の図 2 のフローの中の③のところにも注釈つきまして注釈についても同じ内容を伝えさせていただいております。
0:49:19	大勢ににつきましては代表機器のフローになります。非代表機器の黒については別紙 1-12 のところになります。
0:49:30	はい。
0:49:35	11 の
0:49:39	きちんと研修、
0:49:42	こちらのプラグが代表の
0:49:49	抽出のフローになりますけれども、
0:49:56	非代表機器のフローにおきましては、代表機器によって受けます③の経年劣化メカニズムまとめ表で熱時効が想定されるか否かに該当するフローそのものが、もともと存在しませんので、下階表示の例外規定に関する記載についてはこちらには記載してございません。
0:50:15	コメントNo.1-1 の御説明としては以上でございます。
0:50:30	はい、規制庁ミヤモトですとこういったことっていうよりは、それと関連したところ中種子とかまとめて説明いただいてもいいかなと思ってるんですが、
0:50:40	このパネルでとんでもございません今まで言ったときはいいかなと思いましたが、ちょっとそこは任せいたしますけれどもはいちょっと一つ一つじゃなくていいのかなと思ってます。
0:50:49	ばかりでなくツジでございます承知しましたそうしましたらちょっと続けて御説明させていただきたいと思えます。とコメントNo.3-1 がこれ、今の御説明内容に近い内容ですので、ちょっと先に含めたNo.3-1 のほうを説明させていただきます。
0:51:08	ご質問の内容ですけれども、各起伏例のどれの発生応力が小さく、熱時効の評価は不要であることについて、商売を説明することと、また条件に基づき経年劣化の谷でも今日の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:24	①当該事象の発生の可能性がない使用条件下に該当欠けていることについて、経年劣化メカニズムまとめ表の当該箇所を提示して説明することをいただいていたございました。
0:51:38	こちらにつきましては別紙 2Eを新たに追加しまして、どちらで御説明を記載させていただきます。よろしくお願いいたします。
0:51:51	別紙 2 の御説明をさせていただきます。
0:51:54	／変わってきて、グレーのブルーのにつきましては、高経年化対策実施基準の経年劣化メカニズムまとめ表の当該箇所を添付 1E0 示しております。
0:52:07	経年劣化メカニズムまとめ表におきまして加圧器スプレイ濃度には熱時効が構成されてございます。ただ熱時効等を記載した欄の右隣に喧嘩技術評価不要の条件として数字が期待されてございます。
0:52:25	これはポウ経年化対策実施基準ではご懸念化技術評価不要の条件を満足する場合は、経年化技術評価不要との規定がございませぬ。
0:52:37	／月スプレイノズルは本規程に合致するということを示しているものになります。
0:52:42	／時スプレイノズルは等倍経年化事象の発生の可能性がない使用条件下であることをに該当する場合は、熱時効の評価不要としていることとなっております。
0:52:57	この高確率スプレイノズルというのを、その条件の補填かけ技術評価不要の条件の規定がつけられた経緯でございませぬけれども、
0:53:12	2015 年のお金が対策実施基準の世間に対しまして、過去に実施された高経年化技術評価の実績が反映されたものでございませぬ。
0:53:24	BWRプラントの過圧器スプレイの部分につきましては、耐圧部材ではないことが役会荷重を受けないため、発生する応力が十分小さいことから、時効による材料特性の変化が問題となることはなく、保険課対策上着目すべき経年化事象ではないと。
0:53:42	評価されていることを踏まえたものでございませぬ。
0:53:46	いえ、大飯 3 号の加圧器スプレイノズルにつきましては、価格的本体とねじどめにして機工たれたものとなっております。エスクリの中では、上からてるされたような状態で報告されていないことからプレー海岸からの外荷重の伝達経路ではなくて 6 番だけでもないことから、有意な応力は発生いたしません。
0:54:08	以上のことから、加圧器スプレイの部分には有意な応力が発生する原子力学会標準の当該経年化事象の発生の可能性がない使用条件下に該当することから、
0:54:20	熱時効評価不要と整理できると判断いたしましたものを設け、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:25	以上のコメントナンバー3-1のサンプル御回答になります。
0:54:31	一方、もしよろしければ、続きましてコメントNo.2-1のほうを御説明させていただきます。すみません。ミヤモトに全部説明するにあたってどこか区切りのいいところでまとめて話だったんですけど、1回ここで区切ったほうが良いいから預かったはいはい。
0:54:50	規制庁の山本です。これは主にスクリーニングとところに関するところ、
0:54:56	ヒアリングしたときに、
0:55:01	名この学会基準というところ。
0:55:04	ここは
0:55:06	を採用してるっていうことであれば、それをちゃんとエビデンスもつけてっていうことで、例えば加圧器スプレインズルの評価不要としたのであればその理由ですとか、
0:55:16	焦っスクリーンフローについても見直しと等も踏まえて検討してくださいという話をして今回、
0:55:27	この2、
0:55:29	資料が修正されたというふうに理解しています。
0:55:34	私のほうからは、はい。これわかったんですけども、
0:55:39	その上ぶれ参加されてる方々から何かこれに関しては、確認等を行いますか。
0:55:55	ハシクラさん菊地さん。
0:55:59	ハシクラさん菊地さんの方から何か今のところについて何か確認、質問等ございますでしょうか。
0:56:09	この件に関しては、私も特にミヤモトさんと同じで、特に追加のコメントはございません。
0:56:20	キクチの方も特にコメントはありません。
0:56:25	はい、ありがとうございます。はい、では等火災伝播引き続き次の説明をお願いいたします。
0:56:33	関西電力のページでございますと、こうしました鈴木のほうを説明させていただきます。
0:56:39	もしよければ、鈴木は大庄へのすぐCT以外の評価に関して、幾つか挙げていただいておりますので、
0:56:54	2-1、4分の1の1あたりをまとめて御説明させていただけましたらと思います。
0:57:02	各鉄塔の位置について御説明させていただきます。コメント内容につきましては、1次冷却材ポンプページングのフェライト量を考慮した健全性評価につい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	て、評価条件永住アプライの算出に用いた条件等がわかるように記載を充実することを付帯いただいております。
0:57:23	また当該の評価が応力とフェライト量の体調包絡している評価であることがわかるように記載を充実することといただいております。
0:57:32	この建機ましてポンプケーシングの評価に当たりましては、JMATはポンプのフェライト量を考慮したものをういてございます。時アプライはホットレグ直管能力が大きくなってどれぐ直下のJアプライを用いたほうが厳しい評価となることから省略直感の時アプライを用いた評価を実施しています。
0:57:51	これを踏まえまして、別途補足説明のほうの御説明資料のほうを修正多数いただいております。
0:57:58	ちょっとまだ 10 ページ目をお願いいたします。
0:58:03	10 ページ目の表 4 を評価対象部位の説明のところでございます。
0:58:09	評価対象部位にはえと今回RCPケーシングも含めることにしておりますことから、表のように、RCPケーシングの温度フェライト量、応力の値を追記してございます。
0:58:21	鉄塔番号⑩としまして一行追加してございます。ご覧の通り、フェライト量RCPが最も高い値でございます。
0:58:32	続きまして 17 ページ目をお願いします。
0:58:39	こちらの表の 7 ポツ 1 になります。
0:58:42	RCPBケーシングの応答評価に用いた想定亀裂算出のための亀裂進展解析につきましては、別途ホットレグ直管で用いた応力サイクルの条件と同じものを用いてございます。
0:58:55	HotLeg浄化能力サイクルの条件を示す表 7 ポツ 1 につきまして、RCPケーシングの評価に用いていることがわかるよう長タイトルのほうを申請させていただいております。
0:59:07	ネットマ規定 21 ページ目をお願いします。
0:59:13	こちらでは、き裂進展解析の結果を示してございます。
0:59:18	表 8-1 のホットレグ直管の広亀裂進展解析の結果のところ、RCPケーシングの評価も同じであることがわかるようタイトルの集計させていただいております。
0:59:32	古いて 23 ページ目をお願いします。
0:59:38	RCPケーシングの亀裂進展解析の結果から貫通亀裂に置き換えた想定亀裂については仏長官の法定亀裂と同じであることから、表 9 にそのことがわかるよう行を追加して亀裂長さど厚さのあった様を記載してございます。
0:59:57	続いて 25 ページ目をお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:00	こちらはエイジアプランについてですが、き裂長さが 1Pd3P5tにおけるJアプライ 1 につきましてホットレグ直管の値とRCPケーシングな多様な人でございますので、上場に行き低下して記載してございます。
1:00:19	続いて 26 ページ目をお願いいたします。
1:00:25	こちらは時アプライ男子にあたっての評価条件を示したものでございます。
1:00:31	編集長 11.1 評価条件につきまして、こちらホットレグ直管の評価条件をRCPケーシングの評価で用いていることから、それがわかるよう耐特 1 番目のところにひょう害を追記してございます。
1:00:47	要はポンプケーシングの評価条件がわかるように、地域した部分になります。
1:00:53	またこのポンプの強化が暴落条件であることも説明を追記しておりますと 10 ページ目に戻っていただけますでしょうか。
1:01:10	表 4 にRCPケーシングの各条件を追加しました。こちらを踏まえますと、フェライト量の最も大きなRCPケーシングのJmatと応力の最も大きいこと陸直下の時アプライを比較する場合は各評価条件を包絡させた消火隣ことから、
1:01:29	本文中下から 8 行目のなお書き以降、
1:01:37	に追記をさせていただいております。
1:01:42	コメントNo.2-1 につきましては以上でございます。
1:01:49	問題なければ、別途、コメントナンバー4-1 を引き続き御説明させていただきます。
1:01:58	コメントナンバー4-1 については、表 2 の余熱除去ポンプループ高温側入口止め弁の仕様温度 325 度以下について実際の温度条件がどの程度か提示すること、また、
1:02:13	弁が一般的になってくる製造されており、発生応力が小さいことについて発言能力の話と仮称提示して説明することをいただいております。
1:02:23	こちらについては別紙 9-1 のほうに説明をさせていただいております。
1:02:34	辨野を使用温度につきましては具体的な温度は記載していないものの、資本に関する説明を地域させていただいております。
1:02:46	こちらの 9-1 ページ目の真ん中辺り、E-20 河川でございます。
1:02:52	本件は一次冷却材管の分岐管の第 1 弁であるため、評価上は使用温度 250° 以上として取り扱い、
1:03:01	意見を踏まえますと、しかしながら、その点は非常に運転中は返信しているため流れがなく、1 次冷却材管よりも離れた位置にあることから、実際には使用温度は 250° 未満であることを実機の温度測定により、確認してございます。
1:03:18	これについては過去に別件で当該箇所の温度測定を実施してございまして、当該弁の上流側がホットレグ側の温度測定を行っております。その結果が

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	250° 未満であったことを確認してございますので、仮にある分婉としてはもっと低い温度だと考えてございます。
1:03:40	また当該弁の発生をループとして表 1 表に 104MPaとしてございますが、この発生応力の算出箇所と変一般部での応力値についてのご質問受けてましたけれども、これについては、
1:03:56	同じ 9-1 ページ目の下の方の二重下線で追記させていただいております。またコードとして、当該弁を 1 として追加させていただいております。
1:04:10	余熱除去ポンプループ高温側入口止め弁の構造部は添付-1-11 に示す通りでございます。
1:04:18	表 1 及び表 2 の応力は配管と取り上げの 1 以下と法定して評価した応力値であり、11 の配管取り合い部と記載した箇所の応力になります。
1:04:31	取り合い部以外の応力はこれよりも小さくて、肉厚から想定検討約半分程度になると考えてございます。
1:04:39	以上、
1:04:41	4-1 のコメントに対する御説明でございます。
1:04:47	続いて、5-1 のコメントに対する御回答させていただきます。
1:04:53	認定同時に否決約冒頭の内部欠陥がないことをどのように確認しているのか、製造時の検査を含めて、説明することということで制御をクラスタに関するご質問いただいております。
1:05:07	こちらについては別紙の 9-2 のところに質問をしております。
1:05:16	制御棒クラスタのほうHib処理に関する説明を少し現にさせていただいて、また国内外で定量僕ら佐野本省事例が報告されていないことを 9-4 ページ目のところ 29 円で追記させていただいております。
1:05:35	1IP1 人最寄り否決や風向等の欠陥が除去できていることを製造時の県下で確認検査等をしているというものではないんですけれども、一般的には 1IP 処理により欠陥が消失することは確認されていることから、ちょっと補足説明として、
1:05:54	店舗を追加させていただきました。
1:05:58	ちょっと 9-5 ページ目以降をちょっと説明資料を追加させていただいております。
1:06:05	時の 6 ページ目、こちらはチャッキ処理前後の大幅改善検索をした結果を比較したものになるんですけれども、こちらの左側が 1IP 処理前弁右側が一致 IP 処理方法になります。
1:06:22	左側を見ますと、真ん中の白い部分の否決がありますが、1IP 処理することによって引き継が装置としているということはわかります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:34	次のページをお願いいたします。
1:06:37	こちら上の図のほうは三つの白い部分の空港がございますけれども、こちらもOHP処理をすることによって、径下側の通り、欠陥が晶出していることがわかります。
1:06:55	以上 5-1 のコメントに対する御回答でした。一旦ここで区切らせていただきます。
1:07:05	はい、規制庁のミヤモト別ありがとうございます。
1:07:08	すいません今この位置かね
1:07:18	HP処理のところを 9-5 ページ以降から不発言いただいたんですけども。
1:07:24	ここは大きく一応まっすぐ
1:07:28	キング関連のところになるんですけど、今いただいたお話いただいたところ、定のところは、
1:07:35	はいこの図自体がそもそもは無理なんだけども、中身の説明は急務 4 に、
1:07:43	今回追記いただいているところも説明をされたということで、特にマスクしたり、マスクングするような発言はなかったってことで理解してよろしいですか。
1:07:52	念のため確認です。
1:07:54	関西電力の辻でございますこのような御認識で問題ございません。血糖発言させていただきましたけど、特にマスクが必要なものではございません。はい、わかりましたありがとうございます。
1:08:07	もし今日の熱時効のところはマスクング箇所の結果ありますので、必要があれば事前に教えていただければ、対応いたしますので、
1:08:21	よろしくをお願いいたします。
1:08:23	江藤。
1:08:28	こちらはハシクラさん菊地さんの方からございます。何かございますでしょうか。
1:08:46	規制庁始められるする 1 点だけ、事実確認をさせていただきます。
1:08:54	いえ。
1:08:56	どうぞ。
1:08:57	資料のコメントの三番の一井です。それで
1:09:06	60 年相当の評価見込み。
1:09:10	としましては、所管部とほとんど変わったということは、それはもう包絡性が同じだったから、計算上変わらなかったというフジカワフェライト量と温度が違うんですけれども、
1:09:23	その辺りで違うのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:28	日頃サイクルが別物で同じだから計算して結果は同じであるというふうな認識でよろしいでしょうか。すいませんちょっと。
1:09:35	計算結果を教えてください。
1:09:38	関西電力のページでございます。すいませんちょっと最初のほうが本店が途切れてしまうって言ってちょっとご質問が聞き取れなかったんですけども、大変申し訳ないんですけども、もう一度お願いできますでしょうか。
1:09:53	すみません、規制庁のハシクラですよ。聞こえますでしょうか。
1:09:58	はい。簡単リングツジでございます。聞こえます。
1:10:02	はい、車検ませんコメントNo.2-1の、ポンプケーシングのフェライトも詳細につきまして計算してくれてありがとうございます。これ直観プールと評価すると、結果は変わらないということになるんですけども、
1:10:20	これは結局、ここでいうところもズームオペラ東部とそれから応力値は当然HotLegの直管を180でポンプケーシング126mちゃっちゃいんですけれども、そのあとの指導を繰り返し回数がどう同じ直管謄本ケーシングの話なので、
1:10:39	最終的には評価の結果を変えないという結果になったという認識でよろしいでしょうか。ちょっと計算も家庭でも中身についてちょっと御説明願います。
1:11:21	関西電力の辻でございます。応力につきましては表4のところでもホットレグ直管棟エアRCPを比較して、とりあえず長官の方が大きいことになってございますので、
1:11:36	ヒ口亀裂進展解析であったり、あと実際の健全性評価に
1:11:47	使ってる不安で破壊評価に使って労力としてはホットレグ直管のグループを使って評価しているということになります。表のところでもRCPケーシング能力を所持してまますけれども、こちらについては、
1:12:02	応力値の資格をして代表部位を選定するための表になっていて、実際に評価型応力としてはまた別のものということになります。
1:12:15	以上でございます。
1:12:19	はい、規制庁ハシクラですあわかりましたありがとうございます。
1:12:33	規制庁宮本です。菊地さん。
1:12:38	今説明を関西電力から説明いただいたところを2-1。
1:12:42	4-15-1に関して、何か御質問、確認事項ございますでしょうか。
1:12:49	キクチですが、いや、特にコメントはございません。
1:12:54	はい、わかりました。
1:12:56	あとほかに上ぶれ参加されてる方から何かございますでしょうか。
1:13:18	はい規制庁宮本です。では、当関西電力さん次の説明をお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:27	赤字でこのツジでございます。応募しましたが、続きまして、コメントNo.6の1について御説明させていただきます。
1:13:35	6-1につきまして、コメント内容ですが、フェライト量の算出におけるに置くと窒素の各成分について入力ECRの4号1さんの手法と照らしても妥当であることを説明することをいただいております。
1:13:51	ちょっとこちらについてはまず11ページ目をご覧くださいませでしょうか。
1:14:00	RCPBケーシングの化学組成のうち、えっとね、2億と窒素については、衛生同時に規定がなく、測定していなかったことから、a県協研の供試体の各成分の値を使用していることを明記にて御説明しておりました。
1:14:17	こちらに別途※1の補足としまして、2億と窒素の各成分について、電協研のデータを用いることが保守的であることを追記して、詳細は別紙4のほうで説明することとさせていただきます。
1:14:32	別紙4のほうをご覧くださいませでしょうか。
1:14:41	こちら別紙4のほうにポツに2億と窒素の化学成分として電協研のデータも寄与することがNUREGの規定を用いるよりも保守的であることを説明する内容的させていただきます。
1:14:56	一次冷却材ポンプケーシングの化学成分のうち2号及び窒素は衛生同時に規定がなく、特定していないことから、電協研で用いた供試体の各成分を参考に、同等の値として、乳房●●(非開示情報)%、受槽●●(非開示情報)%としてフェライト量を搬出しました。
1:15:16	一方でに裕度をによりますと2億と窒素の値が不明な場合はそれぞれ2億がゼロ%窒素ば0.04%を使用することと、大飯といった規定がございます。
1:15:29	今回用いました電協研のデータと比較しますと2億は勉強県データのほうが大きく決算については●●(非開示情報)でございます。従って、ここでは2部の量の違いが
1:15:43	総医研になると考えられます。
1:15:46	下の式右問題まず通りASTMに800では200が多いほうがいいクロム当量とニッケル答弁の趣旨が大きくなりますので、フェライト量も大きく算出されます。
1:16:00	したがいまして、県のデータを用いたほうが保守的な評価となります。
1:16:05	1番目に貼る式では、その後に応募しようしてございませぬので、結果には影響ございません。以上のことから、電協研データを用いたほうが保守的な評価となります。
1:16:18	以上、コメントNo.6-1の説明でございます。
1:16:27	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:30	多分ここで、はい。はい、規制庁におかけここで区切ったほうがいいですかねこれは、
1:16:35	はい。はい、自動はつきりさせていただきます。はい。
1:16:38	規制庁ミヤモトです等、こちらについては江藤ハシクラさん菊地さん何かございますでしょうか。
1:16:50	はい、規制庁 8 ヶ月、ペネに一旦書いていただきましてありがとうございます。こういったことがきちと書かれる系へと評価しているということがわかるってことが非常に重要だと思います。これは他プラントにも反映することですので、ここをきちと書いていただいたこと止めるかと思えます。私は以上です。
1:17:10	ありがとうございます。厳しさをお願いします。キクチですが、特にコメントはございます。
1:17:16	はい。
1:17:17	ありがとうございます。
1:17:18	では次、7-1 からですねはいお願いいたします。
1:17:25	関西電力の辻でございます。そうしましたら、続きまして 7 のほう、御説明させていただきますと、こっち側については、広域でも重大事故時の評価に関するご質問になりますので、つ放しれるということでまとめて御説明させていただこうと思えます。
1:17:45	まず 7-1 ですけれども、コメント内容ですが、臨界事故、重大事故等時の荷重条件が通常運転時の荷重条件を包絡できていることを具体的に説明することといただいてございました。
1:18:00	こちらについて、26 ページのほうをご覧ください。
1:18:14	こちら鳥獣 1 もありますけれども、その表 11 の中には時アプライ算出にあたっての荷重条件を示しつつ、脱退が記載してございます。
1:18:29	提示の荷重条件が同意条件の荷重条件を包絡していることがわかるように、内役軸力がの設定荷重曲げモーメントの熱荷重について提言以上というものを受ける与えを括弧書きで記載しております。
1:18:44	TPPI いたしました。もともと一条件で評価してございますので、括弧書きをつけてないのは以西条件話題になります。
1:18:52	企画していただきますと入れても絶対値の値は設定条件のものを方が大きいことがわかります。
1:19:01	ケアプランの計算におきましては絶対値の値を用いて計算してございますので、生条件の応力値を用いたほうが包絡条件になるということをごちらに示しています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:14	ちなみに時譲渡日につきましては、SA時等をDBで変わりませので、方については一緒のものになります。
1:19:25	表 11.2 から表 11.4 まで、当用にAというの箇所についてカッコ書き切れDB条件の荷重値を記載してございます。
1:19:38	続きまして、ちょっと7-2を飛ばしまして7-3 白金ご説明させていただきます。
1:19:46	契約JMAT管理室に対して用いたH3Tモデルの妥当性が実機大で検証されていることを説明することをコメントいただいていたのですが、こちらについては30ページ目をお願いいたします。
1:20:03	はい。
1:20:06	ご質問の内容に対しまして、
1:20:11	30ページ目のほうのノリ二重下線で説明を追記させていただきました。
1:20:16	H3Tモデルについては、電協研の二相ステンレス項の熱時効で下の特定事件に関する研究及び1次冷却材管等の事項劣化に関する研究にて実機試験により妥当性が確認されているものをになります。
1:20:34	NRA殿と勝手な鶏と電力事業者による実機大研究等に関する意見交換をお聞きさせていただいてますけれどもそちらの資料等は元年12月17日に実施させていただいたこの提言交換会の中での資料4。
1:20:53	説明させていただいております。
1:20:56	こちらの内容を追記させていただきましたコメントNo.7-3の御説明としては以上になります。
1:21:06	引き続きましてなのに一等を74について御説明させていただきます。
1:21:13	コメントNo.7-2につきましてはJアプライ短縮に非時効材の応力ひずみ線図を用いることが安全側の評価になる根拠を具体的に提示することといただいております。
1:21:26	浜野についてはJMATについて教条運転時と重大事故等時の温度条件での破壊靱性試験の結果、両者に大きな差が認められないとした根拠を提示することといただいております。
1:21:40	こちら二つのご質問については別紙6でまとめて整理してございますので、別紙6で説明させていただきたいと思います。
1:21:59	ね違うとしまして今回新たに地域差追加させていただいたものになります。
1:22:05	こちら切れた瓶評価における重大事故等時のプラント条件の考慮ということで、追加させていただいたものですが、こちらの添付1として、時アプライの監視等における性状県外等についてと、こういうものをつけさせていただいてます。こちらが2のコメント回答に該当するものになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:24	店舗としてJMATの監視室における是正条件が影響についてというものをつけさせていただきましたが、こちらは7-4のコメント回答、回答に該当するものね。
1:22:34	はい。
1:22:36	うまく点追記のほうから御説明確定いただきます。
1:22:41	こちらはJアプライの算出における条件の影響についてということで、
1:22:47	の御説明でございます。
1:22:49	時アプライに関してにおきましては、作用応力と材料物性応力ひずみ関係を用います。
1:22:58	若干大きく評価ではた揚力作用荷重としてSA条件のものを用いてございます。
1:23:04	て一条件の紙を用いたほうが荷重が大きく、組織的な評価になることは、先ほどお示しました表11ほかで示してございます。
1:23:15	本評価にては、材料物性として、電協研で取得した、通常使用温度325°における応力ひずみ関係を用いてございます。
1:23:27	本資料におきましては、材料物性について、て一条件ではなく、DB条件を用いている言葉で保守的な評価となっていることを示すために一定条件の影響について説明することといたします。
1:23:42	まず、前提としまして1ポツ、フェライト量と、熱時効の影響の説明をさせていただきます。
1:23:49	時アプライは材料物性でやる応力ひずみ関係の株の面積に比例いたします。
1:23:57	図1に、応力ひずみカーブがございますけれども、同じ応力で比較した場合に強度が低い左のほうが赤部の面積が大きくなり、その結果やっぱり大きい値となります。そのため強度の広い応力ひずみ関係を用いたほうが保守的な評価となります。
1:24:18	湖に臨教研で取得したデータをもとに出入りしたフェライト量と熱時効程度による応力比2000年の比較を示します。
1:24:29	フェライト量大きいほど、また、熱時効が設問歩道強度が上がり、応力ひずみ線図が情報に移行している傾向になることがあるかと思えます。したがって、非時効材でフェライト量の小さい応力ひずみ関係を用いて時アプライを算出したほうが、
1:24:46	熱時効の評価としては保守的な評価となります。
1:24:50	Fの評価の熱時効評価において携帯安定性消火では保守的な条件としてフェライト量が小さい非時効材の応力ひずみ関係、試験温度は国でごとのものを用いてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:07	次に、本評価でジェイアプライ短縮のために用いた応力ひずみ関係について正常条件ほども保守的な評価であることを2ポツの設計条件の影響の項目にて御説明いたします。
1:25:23	長一応力ひずみ関係に關係今日処理条件の比較としまして、今回の熱時効評価で用いた応力ひずみ関係と実機の一条件での応力ひずみ関係を比較し、各条件でと事故の有無や本当条件
1:25:40	においてどちらが保守的な評価になるかを整理してございます。
1:25:45	まず①の事項の有無を見ていただきますと、評価条件では非時効材、次期のSF要件では事項台となります。
1:25:54	施工すると、強度が高くなるため、評価条件のほうが保守的になります。
1:25:59	②としまして温度の条件がございすが、超過条件では25°実機のSA条件では63度となります。
1:26:09	温度が高くなると、強度が低下するため、評価条件のほうが非保守的となります。
1:26:21	評価条件と実機条件がほぼ同程度と考えられます。
1:26:26	評価条件と実機のSA条件を比較した場合、超過条件のほうが保守的となるものと非保守的というものが混在しますことからこれら条件をすべて考慮したときに、トータルとして保守的な評価となっているか否かについて、ページ以降説明いたします。
1:26:43	はい。
1:26:44	6-4ページをお願いします。
1:26:47	まず、熱時効の有無の影響について説明します。
1:26:52	維持規格の2016万2019-添付E18をもう一度戦略鋼管の破壊評価に用いる材料特性を用いて事故し得ない代表の方ほうログとツジこうしたどの降伏応力の比を算出いたしました。
1:27:09	下の13を名簿をご覧くださいませでしょうか。
1:27:14	こちらは289.2度の例になります。縦軸は支持鋼材の降伏応力と時構台の抗力区分応力の比をとったもので、横軸は時間となっております。
1:27:26	時間も経過及び5抗力の日は上昇してございますが、時間単位で終わっていることがあります。
1:27:35	表2の表2ですが、こちらは現在の運転時間等60年時点の運転時間における各温度での降伏応力の上昇率を整理したものでございます。
1:27:46	いずれのパターンでも降伏応力上昇率は1.07となっております、事故前比べて影響度が約7%上昇しているということがわかります。
1:27:58	すべて②として温度の影響について御説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:03	設計建設規格付録材料住所後 5 表 8EDをもちましてペイ条件 363 分での強度低下率を算出いたしました 14 をご覧ください。
1:28:18	縦軸は簡略に 15 度での共同に対する各本土での強化費も示してごさいます。
1:28:26	横軸は温度でございませす。
1:28:29	325 度は本評価で用いた応力ひずみ関係のデータの応答データを取得したものでございませす。ちょうどは並行抗力 S_y と引張強さ S_u としてございませす。
1:28:43	SA温度の 363° をいただきますと、制御用の値はほぼ変わってございませせんが、SIについては約 3%程度を経過することがわかります。
1:28:56	①の熱時効の影響、それと②の温度域を踏まえた整理いいとしまして、最後の最後の 2 行をまとめとして記載させてございませす。
1:29:09	評価に用いたところとひずみ関係と実機兄弟条件でもを抜くひずみ関係におきまして、江府抗力で比較した場合、時規制条件は、熱時効により約 7%上昇して温度上昇により、約 3%低下することから、トータルで見ますと実機の形状県のほうが強度が上昇することになります。
1:29:29	したがいまして評価条件のほうが保守的と応答増加することができます。
1:29:35	はい。
1:29:38	一方、
1:29:40	続きましてちょっと参考のほうをつけさせていただきます。
1:29:44	本当にこれまでの説明で熱の影響等に熱時効の影響等の影響を考慮しても、現行評価で用いている応力姫検討は、
1:30:00	御指摘という責任がパッていただきましたが、6 のページの表 1 の整理におきまして、評価条件と実刑条件でのフェライト量を° 程度としていましたけれども、実際には部位によっては実験のほうはフェライト量の小さい部位があることから、
1:30:17	その影響で天然のための確認をさせていただきます。それを参考として決定させていただきます。
1:30:24	別途ばらグレー工とか、確認委員の仕方について御説明させていただきます。
1:30:33	一基のフェライト量が評価条件のフェライト量を下回る場合の影響検討するため、維持規格 20162019-添付E18 を用いて、フェライト量の最も小さいホットレグ直管入れとるが 9.9%のものについて、
1:30:49	気候条件地形条件を考慮した実験の応力ひずみ関係を算出して評価に用いた応力ひずみ関係を比較することを行いました。
1:31:00	確認フローについては、下の図 1 に示します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:04	各項目について、算出の仕方については今後の6-7ページ目に詳細記載してございます。詳細については、与えさせていただきますが、最終的な結果としては、最後の方に委員になります。
1:31:26	この善意のグラフの赤色の点の実機で条件での応力ひずみ関係でございませう。Pro色の線が評価に用いた応力ひずみ関係でございませう。
1:31:38	こちら比較していただきますと、評価に用いた応力ひずみ関係が実験の応力ひずみ関係よりも小さいことから、評価に用いた応力ひずみ関係のほうが保守的な評価になるかとフィーことが確認できます。
1:31:54	以上ジェイアプライ算出におけるSA条件の影響についての御説明になります。
1:32:02	続きまして検討にこちらコメントNo.7 迷うに対する配当2 二倍とするものになりますけれども、Jmatの算出における是正条件の影響について御説明させていただきます。
1:32:16	本評価におきましては、Jmatは325度の温度条件に採取されたデータの下限值ページ3ピンクの下限值を用いて徹底してございませう。
1:32:27	ただFA条件363° オールした評価において325で求めたJMATも切ることが妥当かどうかということを確認するため、325度の温度と設計条件とほぼ同じ365度の温度条件で行った破壊靱性試験。
1:32:45	その結果をお示しいたします。
1:32:49	供試体としましては、(1)に示すようなフェライトお持ちを用いて実行されたものを用いました。
1:32:58	(2)意見内容として、過去に示す条件で行いました試験温度は2種類325と365としてございませう。
1:33:09	結果は、(3)に示してございませう知見理事炉された破壊靱性試験結果のブロックのグラフとJIC試験の結果JQ値をお示してございませう。
1:33:22	イラクの辺りの青色の川で325°の結果、赤色の/h加盟国のプロジェクトの結果となります。
1:33:32	この結果を踏まえまして、365のJMAT値と325°のJMAT値の大きな差は見られないことがわかります。
1:33:41	また360度のJMAT値は13Tモデルの下限值、101番下に記載の値よりもずっと大きいことがわかりますことから、H3Tモデルの下限值を用いた評価は妥当であると判断できます。
1:33:57	なお、本指針で取得した時Q値は提案シートとして伊万里となったものがございましたが、バリューととなったデータや過去の電協研で取得した方法のポチデータのJ空気と比較して同程度であることから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:12	本試験結果は妥当であると判断してございます。
1:34:17	はい、以上JMATの班震災における温度の影響についての説明でございましたところで一旦7シリーズの御説明のほうを終わります。
1:34:36	はい。規制庁の宮本です。はい。
1:34:41	はい。
1:34:48	すいませんそしたら上のほうからの
1:34:53	それはハシクラさん菊地さんのほうから、
1:34:57	何かございましたらお願いいたします。
1:34:59	はい。
1:35:06	規制庁ハシクラです。
1:35:08	ちょっとまず事実確認させてください。
1:35:13	兵庫11位なんですけど、表11の応力ひずみセンスはちょっと説明聞き漏らしてしまったかもしれませんけれども、SAの条件で出されたということで、水位ねっていうのはちょっとすいません。
1:35:29	教えてください。
1:35:35	はい。
1:35:37	関西電力の辻でございます。商事旧位置にお示し隙間抗力ひずみ関係につきましては325°で取得しているものになります消火で用いたものは別途非時効外の325°で取得した応力ひずみ線図、
1:35:56	になりまして、それをこちらに記載してございます。
1:36:03	はい。すいません万ppmをベントのところに括弧がきつとすいません書くわけじゃないのはSm条件とそれから参考条件、これDBIにこの数値を書いていたいているということ
1:36:19	それから、じゃあ、今おっしゃってるの交渉力特重ひずみについては、あくまでも325トンデータだということですね、すいません確認です。
1:36:30	関西電力の辻でございますご認識の通りでございます。
1:36:36	はい。それにちょっと関連してなんですけれども、別紙6のほう、お願いいたします。
1:36:52	16の一番最後ですけども、
1:36:57	事項によって7%上昇して温度によって3%低下しているということで、最終的には保守的なところで評価条件等が十分満足しているということが事実関係だということでよろしいですか。
1:37:14	関西電力の辻でございます。その通りでございます。
1:37:21	わかりました温度によってバースト測線%下がるけれども実行によって何%上がるからまた特に問題ないよということだという、別に続けるっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:33	破壊電力のツジでございます。その通りでございますが、温度によって3%下がっていますけれども、ちょうどたかったんですけども熱時効によって取り上げもこれを上回るぐらいのちょうど上昇があるので、
1:37:48	結果としては、S4のほうが強度が上がりますよという結果になっております。
1:37:56	はい、規制庁がそれです。それが結果として非時効材よりもさらに上がっていくので、十分保守的なこれはちょっと言えませんが、図2のところ見たらそれが10分言えますよというのが、この計算結果ですね。
1:38:15	関西電力の藤井でございます。その通りでございます。
1:38:20	はい、規制庁ラスパイレス事実関係はわかりました。
1:38:37	キクチですけれどもよろしいでしょうか。
1:38:43	ミヤモトです。菊地さんお願いします。
1:38:48	今の保険プール6の
1:38:55	別紙6の添付2ー
1:38:58	データなんですけれども、
1:39:03	この破壊靱性でJMATとったデータなんですけれども、
1:39:08	時好条件が●●(非開示情報)度、
1:39:13	すごく高高になっててですね、多分
1:39:18	実際使ってる温度よりも高いんで。
1:39:22	実際には起きないような析出物ができてると思うんですけれども、
1:39:28	そういうことを考えても、この温度は、
1:39:32	宇部事故したやつは、
1:39:38	何点か保守的に、
1:39:40	使えるんですよということはいえるんです。
1:40:23	本体電力のツジでございます。ご質問んとしましては、こういった正常の運転条件にも高い温度で実行させることで、
1:40:36	フロントでの熱時効では起こらないような何か別の一等ものできたりとかあるんじゃないかということで、それでもこの温度条件で実施して問題なのかということ。
1:40:51	ご質問かと思えますけれども、当直の温度条件であれば、とかとこ試験として、問題ないものということで、我々のほうは考えています。
1:41:09	今まで
1:41:15	例えば納入0件の
1:41:19	4工事さんとかですね、青いやつで、報告書ですね、見てる論文だとか、あと国内の
1:41:26	昔クレックスでやったデータなんかを見てても全部

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:31	●●(非開示情報)どうぐらいで実行して、
1:41:35	うんで、事故室ですね、その上のdた温度ではですね、実行してないかなかったと思うんですよ。ですからちょっと●●(非開示情報)°ぐらいで、
1:41:47	家族試験やったやつは、他の例えばいろんな、
1:41:52	●●(非開示情報)どうぐらいまでですね。
1:41:57	温度で
1:41:59	関するようなもの以外の部分も出て、
1:42:03	でもですね、ある程度保守的に評価できるんだよということを何か一言加えていただけないかなっていうのがお願いなんですけど。
1:42:41	規制庁のハシクラですとちょっと増えてくるかもしれませんが、例えばこれは結局県でやられているんでしょうか。深層とかその辺りはチェックをされてないんでしょうか。スピンドル訓戒お話も含めてなんですけども、そこら辺を全部関係って温度に対する
1:42:59	今ちょっとキクチで直せ多様な観点でも金装填がやられてないんでしょうか。ちょっとすいません追加。
1:43:06	申し訳ないなんですけども。
1:43:10	一応、
1:43:12	9名。
1:43:19	関西電力の辻でございます。またこの本試験については勉強権利実施したものではありません、当社とKK連単でちょっと一緒にやらせていただいた試験になるんですけども、
1:43:35	ちょっと銀行試験とかっていうのは試験の中では実施してなんですけれども、ちょっと●●(非開示情報)°の影響については、
1:43:45	ちょっと他の文献とかいろいろ調べさせていただきまして、議会の方。
1:43:53	ちょっと低利させていたと発表思います。
1:43:59	課税レベルイシカワですいません。ちょっとあの同じ材料を使って連携要件やってた可能性がちょっと今記憶があやふやなので確認させていただきたいですけれども、勉強会は電気料金として何か言ってたような記憶もうあるようなないような感じですので一旦確認させてください。すいません。
1:44:22	来県庁
1:44:25	キクチです。よろしくお願ひします。あまり厳密のあることを聞いてるのではなくて、もう
1:44:33	かなり保守的だっていうのはわかってるんですけども、ある程度●●(非開示情報)でやったやつは多分●●(非開示情報)分を
1:44:42	より下でやっぱりツールもいろんなものが出てきて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:45	やっぱりちょっとぜ脆化が少し大きくて、保守的かなとは思んですけども、何かその辺の確認だけということで、
1:44:54	お願いしたいんですか。
1:45:00	矩打ち返し伊藤のほう承知いたしました。こちらの記載の仕方のほう工夫させていただきたいと思います。
1:45:17	規制庁の宮本です。
1:45:19	あとキクチさんの方から何かございますか。
1:45:24	ここまでのところは特にさつきません。わかりました。はい。
1:45:33	すみません、上ぶれ探されてる方から特になければはいいえ続き行きたいと思います。
1:45:41	あと、9-1と10かと思いますが、まず9-1ですね、お願いいたします。
1:45:48	はい。下階電力のページでございます。起こしましたら9-1について御説明させていただきます。
1:45:54	いただきましたコメントとしまして設工認と保険確率評価のエネルギー比較につきまして、公認の対象代用の記載を規定かけることまた総会※的NOVAK方法について説明することと、
1:46:10	時いただいていたかと思えます。
1:46:13	こちらについての別紙の7ページのほうで説明していただきます。
1:46:19	別紙の7-添付-2をお願いいたします。
1:46:28	こちら表のところに設置公認と大きいの評価の比較を載せさせていただいております。上のほうに対象材料等ございますが、以前はオーステナイト相ステンレスポート記載させていただいて設工認のほうは当然ないとステンレスことを聞きたい。
1:46:45	たくていただいていたんですけども、弱については、潜熱中高にも適用可能であることで今評価しているものが一時冷却材管であることということから、ちょっと記載を見直させていただきまして、今月中高とさせていただきました。
1:47:02	もう一つの御質問に関するものなんですけれども、同じく添付2Eの5人とPLMの比較におきまして、Hp形成の後半にかかわらず開口面積がどちらも1224人と、
1:47:18	同じ値となっております。
1:47:21	熱交につきましては弱から用いたパイを使っており、ALMについてはじいちゃん、それから、用いた対応を記載してございますけれども、実行の考慮の有無にかかわらず同じ値となっているというふうについてというところでコメントいただいていたかと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:38	こちら、開口面積につきましてはジェット反力を算出するときに用いるものでございますので、配当面積が大きいほど保守的な評価になると考えられます。
1:47:49	意見いただいたコメントのぼいにて事項考慮したほうが開口面積は、
1:47:54	小さくなると考えられるに従いましてじっと反力の算出にあたっては、熱時効を考慮しないほうが保守的な評価となると考えられます。
1:48:05	攻めのLBB寄託については、全体としては熱時効を考慮した評価方法が規定されていますけれども作用応力から求められる開口面積については、熱時効を考慮しない規約と同じものが記載されていることを確認してございます。
1:48:20	この理由について詳細はちょっとわからないというところがありますけれども、ちょっと反力算出におきましては保守的な評価になっていると考えてございます。
1:48:30	予定です。承認のところの開口面積のところの米印について注釈をつけさせていただきまして、こちら坑Tの法定亀裂に対して熱時効を考慮的に生き主査態度ということで開口面積の搬出方法について説明を聞いてさせていただきました。
1:48:49	2位コメンテーター以上でございます。
1:49:10	はい規制庁宮本です。ありがとうございます。
1:49:14	はい。
1:49:21	はい、修正されたところはLBB評価と被告のところの
1:49:27	設工認のところの
1:49:29	を適正化したっていうところ。
1:49:32	等、あとはLBB成立性の確認結果のところ、
1:49:41	想定亀裂に対して熱時効を
1:49:44	考えずに算出した値であるというところを、その開口面積ですね。
1:49:50	書いていただいたというところですね。はい。
1:49:53	おります。
1:49:55	はい。
1:49:56	法令については、
1:50:00	はい、ハシクラそんなにか誤差言いましたでしょうか。
1:50:10	はい、規制庁8ヶ月巡回コメントさせていただいたことに対して、修正なので、中身に関しての確認させていただいて、私の方は特にございません。
1:50:21	はい、ありがとうございますとキクチさんの方からございますか。
1:50:29	腹部
1:50:32	ちょっとすみません、もう一度その開口面積を求めたときですね。
1:50:38	実行ありなし。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:41	の話なんですけど、結局あのえっと大飯 3 号Tの今回の高経年では
1:50:49	材料の事項は考慮せずに基づきでやった値で
1:50:57	政府与党 100 度なんですか。
1:51:01	関西電力の鳥居でございますその通りでございます。NPDの皮下の規格を用いて評価してございますけれども、そちらのほうが、もともとの熱時効を考慮しないであたりになってますので、その規格を用いて評価したものを玉津計算していただいた結果、
1:51:21	そのようなことになっているというものでございます。
1:51:30	もう一度確認なんですけれども、結局ジャックに基づいて計算した結果を載せてます。ただしジャックは熱時効を考慮してないので、
1:51:43	この開口量は逆の試験粉末かってやってますよと、そういうことをよろしいんでしょうか。
1:51:55	関西電力の辻でございます日当そのような御認識で考えております。
1:52:05	わかりました。
1:52:12	規制庁の数ヶ月先ほどツジさんの説明の中に、
1:52:18	開口量までツジ後部考えても十分小さい。
1:52:23	だからこれでいいんですよっていうふうなお話があったような記憶があるんですけど、それを考えて今回こう面積が今のこの企画で大丈夫だというふうに認識したんですけど、それは違うということなんですか。
1:52:43	関西電力の辻でございます血糖開口面積については、熱時効を考慮したほうがちっちゃくなると小さくなるということになりますので自体反力を算出するときには、やっぱり事項を本来考慮したほうが、
1:53:01	保守的な評価にはなると考えてございます。Policyないほうが考慮しないほうが保守的な超過になると考えてございます。
1:53:10	それで、今回については、
1:53:14	福本さんの熱時効を考慮しない。明日方法が規格のほうに載せられてますので、それをそのまま使って書き込めていけばしているというものになります。
1:53:30	もし仮にへの付議事項を考慮した評価をすれば、この開口面積よりも小さくてわかりになる。
1:53:38	と思いますが、ちょっと反力を算出する際には、こちらどちらか厳しい保守的な値になると、そういうふうな認識をしております。
1:53:51	今の御説明がセンターの中であって、
1:53:55	熱時効方法考え方も今その後ちょっと反力の部分を、結局は保守的であるということを考えていらっしゃるから、今のウダの話が続いてるんだろうと私は理解したんですけどもそれでよろしいでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:14	硬い電力の土地でございますこの通りでございます。
1:54:21	はい、わかりました了解しました。
1:54:29	すみません、たびたびすみません。規制庁キクチですけれども、
1:54:36	この開口量を
1:54:41	地域移行した材料のほうが、
1:54:44	小さくの行政のね。だから時講師な意識での方が開口量が多く出て保守的に なります。そういうことですよ。
1:54:56	関西電力の通りでございます。その通りでございます。
1:55:02	了解いたしました。
1:55:22	規制庁の山本ですすみません、ちょっと
1:55:26	ちょっとフォローできないところがあって申し訳ないですけども、今のその熱時 効を
1:55:31	考慮しない方がその開口面積で、
1:55:33	あそこには保守的なんですよ。
1:55:37	っていう、その考え方、
1:55:41	っていうのは何かこの
1:55:45	その開口面積を求める一連のこの説明の至難の中にはそういう考え方って書 いてあるのか、それともこれはもう自明のことなんです。
1:55:57	それから書くまでもないってことなんでしょうか。
1:56:00	岩根ツジ九つに算出した値ってことだけがぽんと出てきているのかなともちよ っと思ってまして。
1:56:10	今のハシクラ3 キクチさんと関西電力とのやりとりがあったところっていうのは 何か
1:56:17	追記された方が、
1:56:20	国会がないのかなと思ったんですけれども、渡島でしょうか。
1:56:26	まずその書かれてるかどうかってとこまで確認させてください。
1:56:31	規制庁お金です。
1:56:35	ハシクラさん願います。
1:56:38	はい。そういった意味では確かミヤモトさんのおっしゃる通りで、そこら辺がちょ っと危惧さも私も前年に今聞いてしまったんですけれども、ちょっと説明として 関電さんは入れられた方が多分わかりやすいかなと思います。飽くまでも、そ ういった部分があるので、
1:56:57	熱時効を考慮しても、開口面積が小さいので、ここの部分の中ではLBBの成 立性に関しては当然経営判断をしないということで小さいことになりますので、 そういったちょっと前せん断も話をちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:13	やっぱりどっかに入れていただいた方が読む人にはちょっといいかなっていう ちょっと思いました。すいません、私はそう思います。いかがでしょうか。
1:57:23	関西電力の辻でございます。ご意見拝聴いたしまして、少しちょっと、
1:57:30	と記載のほう検討させていただきまして、ちょっと読みやすいような記載にさせ ていただきたいと思っております。以上でございます。
1:57:39	はい、規制庁ミヤモトですありがとうございます。では記載の充実っていうのを お願いいたします。
1:57:47	あと、そう上で参加されてる方から、
1:57:53	ここですね、施行にPAMでもLBB評価比較っていうことで、何か質問、確認と かございますでしょうか。
1:58:13	はい。
1:58:15	例えば伊藤最後 10 番目になりますか。はい。お願いいたします。
1:58:24	関西電力の辻でございます。そうしましたら、最後、No.10 についてご説明い ただきます。
1:58:31	いただきましたコメントは、SG入口 50° エルボの応力が表 4 と表 5 で辺りが 異なっていますけれども、この理由について説明することとしていただいてござ いますか。
1:58:43	10 ページのお願いいたします。
1:58:53	こちら共用にSG出口場所があることをして応力 141 MPa が PASCAL が記載さ れてございます。Fujii 入口 50° エルボについては、モデル上の中堅の欠点 がございまして直管部とカリウムが本来します。
1:59:11	応力として大きいのは直管部形状のところでございますして 141 MPa が助かるとな ります。
1:59:18	一方で、ワーニングとして時アプライの評価として厳しくなると考えられるの は、別途曲がり部の方でして、その部分能力は 136MPa となります。表 4 に ついては評価部位の抽出のため、
1:59:34	の表でございますので、より大きな応力である直管部の値を記載してございま す。一方兵庫については記載の評価部位の応力としまして周り部の陸のほ う、136MPa のほうを記載したというものでございます。
1:59:49	こちらについてちょっと被害の利用について説明を作成させていただきました 表 4 の 141MPa のところに※4、そして注釈をつけさせていただいたのと、
2:00:05	あとは 10 ページの本文の真ん中辺りになおツジ事故状態で
2:00:13	いうところの頼っていきさせていただきました。
2:00:17	別途、コメントの御回答としては以上でございます。
2:00:25	はい。規制庁ミヤモトです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:29	水道バーはいサイト
2:00:33	ハシクラさんキクチさんのほうから、こちらはいかがでしょう。
2:00:39	はい。発表する施工を見通したときに何で違うのかっていうことをちょっとお伺いしてよくわかりました。私は大丈夫です。以上です。
2:00:51	キクチです。私もここに書いていただければ大丈夫だと思います。
2:00:58	はい、ありがとうございます。
2:01:00	当関西電力の方から熱時効に関して何かほかに説明とかはありますでしょうか。
2:01:09	関西電力のページでございます。すみません。ちょっとご説明が抜けておまして別紙 9-2。
2:01:18	とお願いしたいんですけども、
2:01:21	はい。
2:01:24	ごめんなさい、決めの設置位置のほうで申し訳ありませんが、経営の
2:01:29	一応お願いします。
2:01:31	こちら 25 億円追加させていただいている箇所の一つ上の文章に専用製造時検査及び現状保全の内容については別紙 1 に記載しているとありますけれども、
2:01:45	すみません、こちら誤記でございまして、確か別紙 8 に記載しているでございます。そちらについては、次回修正させていただいて提出させていただきたいと思っております。
2:01:57	1、
2:01:58	以上でございます。
2:02:01	はい規制庁宮本です。はい。別紙は、
2:02:05	別紙 8 ですかね。
2:02:09	電力ツジでございます。その通りでございます。そうですねはい。
2:02:14	はい、そうですね、はい、わかりました。
2:02:17	はい。
2:02:19	で、
2:02:20	今日コンクリートを
2:02:22	低サイクル疲労ず熱時効等を行いました全体通して他に規制庁から確認がないかどうか植えて参加されてる方い確認したいと思います。
2:02:35	まずとか佐々木さん何かございますでしょうか。
2:02:39	特にないです。はい。
2:02:41	ありがとうございます。ツカベさん何かございますか。
2:02:46	私も特にありません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:48	はい、ありがとうございます。
2:02:49	ミズタさん、何かございますか。
2:02:55	特にありません。はい、ありがとうございます。
2:02:58	8ヶ崎さん。追加で何かございますでしょうか。
2:03:04	私は特にございません。
2:03:07	キクチのほうも特にありません。はい、ありがとうございますとか耐電力のほうから、全体として何かなければこれヒアリング終わりにしたいと思います。
2:03:19	関西電力の照井でございます。特に関連台頭してございません。
2:03:26	はい、ありがとうございます。では、以上で本日のヒアリングを経ていただきますとありがとうございました。
2:03:35	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。